

第32回 広島広告企画制作

広島広告協会の「第32回広島広告企画制作賞」の受賞作品27点と「2011年広島広告賞」が決まった。「広島広告賞」の贈賞式は6日、広島市中区のリーガロイヤルホテル広島で開かれた広島広告協会総会の席上で行われ、同協会「広島広告企画制作賞」の表彰式もあり、199点の応募作品から選ばれた新聞、雑誌、電波、SP、商業演出の5部門14部から、金賞・銀賞・キャンペーン特別賞計27点の入賞作品の広告主、制作会社にそれぞれ表彰額と副賞が贈られた。

新聞部門

《新聞の部》

●金賞 第34回フラワーフェスティバル開催告知広告



○広告主/株式会社中国新聞社
○企画制作/株式会社西日本広島支社
○制作者/佐々木亨、湯治健富、増垣和男、米田光希、元圭一

大きなまるで駅張りポスターのようなラッピング広告である。見開きの紙面いっぱいに織り上げられる空間を、上下無く描かれることによっていっそうの広がり、奥行きを感じさせてくれる。楽しくワクワクするカワイイイラストは、よく見ると刺繍で描かれている。明るく、やわらかい色彩は、刺繍だけでなく、アップリケやボタンなど様々なテクスチャーを使い賑やかで華やかなフラワーフェスティバルへと誘ってくれるようだ。

●銀賞: Sports×Business フロート広告シリーズ「私の可能性」篇、「私の仕事場」篇

○広告主/石田学園 広島経済大学 ○企画制作/株式会社エモーションワークス
○制作者/木田清也、山本晃子、仲村比嘉士、片上久也、豊田理恵、川村和枝、西口瑠美

《新聞連合の部》

●金賞 緑の伝言

○広告主/アサヒビール(株)、(株)アンデルセン、近畿日本ツーリスト(株)、(株)ジェイ・エム・エス、東守金属工業(株)、社会福祉法人FIG福祉会、中本総合印刷(株)、(株)日本パーカーライジング広島工場、広島修道大学、学校法人広島女学院、フマキラー(株)、(株)みそ、三菱地所(株)、三菱電機(株)、リビンス(株)
○企画制作/株式会社中国新聞社、(株)ペンギングラフィックス
○制作者/潮尾篤史、中村和人、角田雅子、迫文雄、永戸修司、谷麻美、梅木加奈子、我那覇健一



爆心地から2km以内で被爆し再び芽吹いた樹木を広島市では被爆樹木として登録している。終戦60周年となった平成17年より6年目を迎えた「緑の伝言プロジェクト」。今年ほどんなテーマでビジュアルが出てくるのか毎年楽しみにしている。昨年は被爆アオギリ2世、今年も広島市寺町にあるイチョウ。寺の本堂を改築するにあたってこの被爆イチョウを守るためのさまざまな人たちの努力が平和への想いとなって伝わってくる。

●銀賞: 発するタウン「ひろしま地元再ハッケン」シリーズ6

○広告主/協賛各社 ○企画制作/(株)中国新聞広告社、(有)コンセプトワーク
○制作者/大橋正、川上佳代、阿部さやか、山崎美咲、溝上愛、古石真由弥、吉岡千智、かわにしひでき

雑誌部門

《雑誌の部》 該当なし

商業演出部門

《看板・ネオン・ディスプレイの部》



●金賞

山陽・九州新幹線 開通

○広告主/JR西日本広島支社
○企画制作/株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ中国支店
○制作者/河野健太、服部豪之、坂本剛志、村上麻紀、野村雄一

ついに、ついに九州新幹線の開業である。全国的なキャンペーンが展開される中で、このディスプレイに関しては地域での独自の広告が展開されていた。山陽新幹線から博多駅で九州新幹線へとパンが渡される。広島駅では、登場、東へ、九州へ、熊本へ、鹿児島へ、と大きなコピーが入ったディスプレイが展開された。特に新幹線の美しい車体が原寸かとおもうほど大きく横長にディスプレイされているのは思わず立ち止まって見入ってしまうほどである。規模が縮小されていくことが多い時代で、その痛快さと思わず嬉しさがこみ上げてくるのは私だけであろうか。

●銀賞:

CARP Baseball Gallery カーベースボールギャラリー

○広告主/株式会社広島東洋カープ ○企画制作/株式会社みづま工房
○制作者/木村幸治、藤原昌巳、横川雅成、中間大介、岡野洋、窪田真美、三好結子、佐竹修次、熊野広秋、堂河内幸雄

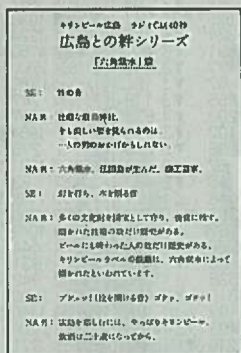
《ラジオの部》

●金賞 広島との絆シリーズ

(宮島篇・霧の海篇・瀬の浦篇・六角紫水篇)

○広告主/キリンビール(株)広島支社
○企画制作/株式会社三井物産
○制作者/伊藤亨、田中大介、橋本真亮、久保敦男、溝口圭介、渡辺裕之

広島広告企画制作賞の審査の中で私が楽しみにしているものの一つがラジオの部である。それは、最も想像力がかき立てられ、普段じっくりと聞くことが出来ないCMに聞き入ることが出来る栄誉である。ビールのCMという全国的なものが多いが、この作品は広島を代表する情景にバージョンをあて、広島の歴史や文化、価値観を共有、広島(消費者)に「地元キリンビール」を共感させてくれる。



《テレビ15秒の部》

●金賞

もしかして、広工大。「電子レンジ篇」「もしかして女子篇」

○広告主/学校法人 鶴学園 広島工業大学
○企画制作/株式会社アド・中四国支社
○制作者/杉田洋、松永直子、国生義弘、川島政晴、大方孝司、新井千晶



ここ数年、大学の広告が際立っている。2007年にもこの賞を受賞したのは大学だったと記憶している。私も広島の大学人の一人として、大学間の競争が激しさを増していることは認識しているつもりだが、「工業大学」というと数学や物理といった難しく堅いイメージ

●銀賞: ホルモン焼肉ぶち

「会長語りAタイプ」「会長語りBタイプ」
○広告主/株式会社ビッグアーム
○企画制作/株式会社RCCフロンティア
○制作者/高木大輔、富永和浩、筒井俊行、徳原純司、中野祐樹、赤松克彦

●銀賞: 行け! 電気保安官

○広告主/株式会社中国電気保安協会
○企画制作/株式会社西日本広島支社
○制作者/清水清春、鎌倉康紀、村上浩司、渡辺裕之

《テレビ30秒以上の部》

●金賞 該当なし

●銀賞: 「ゆるぎない」(インタビュー)

○広告主/田中学習会
○企画制作/株式会社毎日広告
○制作者/宮原喜恵、山崎浩、川上昌平、神田浩、石山新、渡辺裕之

●銀賞: 「散歩気分」

○広告主/らぽーとマネジメ
○企画制作/株式会社西日本広島支社
○制作者/寛章男、清水清春、佐々木真、渡辺裕之、加藤和夫

SP部門

《ポスターの部》

●金賞 ニッポンの酢eat



○広告主/株式会社後藤商店
○企画制作/株式会社ペンギングラフィックス、Sante FaMille
○制作者/中村和人、大崎由佳、中村富子、永戸修司、矢吹紗織、迫文雄

3.11では東北の酒、酢、味噌、醤油、といった多くの醸造元が被災している。日本には古来それぞれの土地、地域で、こうした食文化が綿々と続いている。このポスターも庄原市東城町の後藤商店で、百数十年受け継がれる伝統的な「赤酢」の商品のイメージポスターである。「酢」を(す)とあえてひらがなで日本的な表現にこだわり、キャッチコピーの「ニッポンの酢eat」は(スイート)と(酢eat)と(酢、食)にかけている。まっ白な余白に、東城町の古き良き町並みと随所に置かれた赤が一層濃とした日本の和を意識させてくれる。

●銀賞: 平成22年度広島県観光ポスター「春夏秋冬 広島爛漫」

○広告主/広島県観光連盟 ○企画制作/株式会社三井物産広島支社
○制作者/藤森義雄、田中大介、畑下貴洋、白砂博大、徳山典子

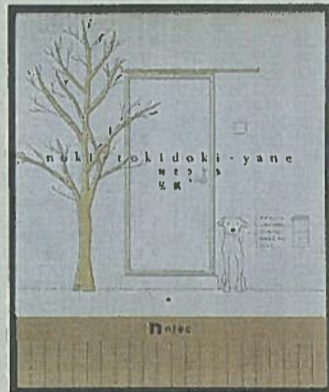
《カレンダーの部》

●金賞

noki-tokidoki-yane

○広告主/株式会社エヌテック
○企画制作/株式会社ペンギングラフィックス
○制作者/中村和人、中村富子、谷麻美、迫文雄、松下陽子

「軒ととき屋根」と題されたこのカレンダーは、子供の頃、大工さん達が家を建てている現場で拾い集めた無数の木っ端、手札版のような手頃なサイズに、そうした木の温もりを連想させる色彩と可愛いイラストがマッチしてナチュラルテイストに仕上がっている。木の柱に飾るとインテリアの一部になるような趣きのこない自然な雰囲気を持っている。奇をてらった家ではなく自然を探り込み自然と暮らせるそんな作り手たちの家づくりが伝わってくる小品。



●銀賞: HANAMOTO ZOO

○広告主/株式会社花本商店
○企画制作/株式会社バンダグラフィックス
○制作者/中村富子、中村和人

《パンフレットの部》

●金賞

御海苔献立帖

○広告主/丸徳海苔(株)
○企画制作/株式会社ROCKETS
○制作者/濱野真由美、納島正弘、小関敦之、卜部健治

企業が作るプレミアムにはその企業のアイデンティティがぎっしりと詰まったこだわりの逸品が多い。それは同時にクリエイターたちの持てる能力を発揮出来る場にもなっているように感じられる。御海苔献立帖は海苔の和の食文化を十分に感じられるように、製本も和紙で表紙も一目でそれと分かる海苔によって書かれている。おそらく海苔だけのレシピ集はなかなか珍しいのではないだろうか。そうした意味でも(欲しい)と思わせるに充分な逸品と言えそうだ。



●銀賞: むりえーる Vol.1

○広告主/株式会社中本本店
○企画制作/株式会社中本本店
○制作者/梶谷剛彦、三瀬純也、吉川富美子、松山翔司

《チラシの部》

●金賞 森のJAZZ LIVE 2010

○広告主/広島市/里山あーと村 森のJAZZ LIVE 運営協議会
○企画制作/株式会社ROCKETS
○制作者/納島正弘、横倉恒利、藤井政美、氏原睦子



チラシのデザインも良いのだが、羽根型のチケットやライブアルバムやバッジをセットしたプレミアムエディションは、ただ1日のコンサートのためにつくられているとは思えないほどの完成度で、クライアントとクリエイターの強い思い入れと、その企画力が高く評価出来る。

●銀賞: 魚のイズオカ

○広告主/イズオカ鮮魚店
○企画制作/株式会社ROCKETS
○制作者/納島正弘、出岡龍也

《パッケージの部》

●金賞 “おそら”の銘撰シリーズ

○広告主/株式会社おそら ○企画制作/株式会社ROCKETS
○制作者/清水早苗、納島正弘、藤井千恵



無添加、無農薬の自然派食品のお店は無パッケージ、無デザインということが多く、この「おそら」はどうだろう。質素な中にもシンプルなデザインは作り手とクリエイターの真摯な姿勢が見事なコラボレーションとして表現されている。

●銀賞: ゴトウの赤酢

○広告主/株式会社後藤商店
○企画制作/株式会社バンダグラフィックス、Sante FaMille
○制作者/大崎由佳、中村富子、中村和人、西濱謙三、永戸修司、矢吹紗織

《POPの部》

●金賞 該当なし

●銀賞: JR西日本 山陽～九州新幹線

開通告知キャンペーン
○広告主/JR西日本広島支社
○企画制作/株式会社アサツーディ・ケイ中国支社、株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ中国支店
○制作者/山田守芳、小野和夫、見正伸也、川崎電太、西本旭宏、新田優子、河野健太

《インターネット広告の部》

●金賞 該当なし

●銀賞: ザ・パークハウス上職

ホームページ フラッシュムービー
○広告主/三菱地所レジデンス(株) ○企画制作/株式会社大広西日本
○制作者/牧野野、長原伸二、佐藤正樹、池宗一雄、明比電次

●銀賞: むりえーる.com

○広告主/株式会社中本本店 ○企画制作/株式会社中本本店
○制作者/梶谷剛彦、三瀬純也、吉川富美子、松山翔司、多田幸

電波部門

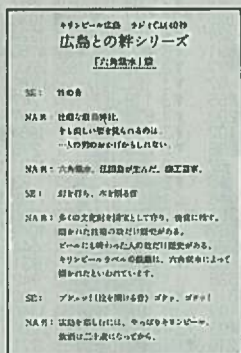
《ラジオの部》

●金賞 広島との絆シリーズ

(宮島篇・霧の海篇・瀬の浦篇・六角紫水篇)

○広告主/キリンビール(株)広島支社
○企画制作/株式会社三井物産
○制作者/伊藤亨、田中大介、橋本真亮、久保敦男、溝口圭介、渡辺裕之

広島広告企画制作賞の審査の中で私が楽しみにしているものの一つがラジオの部である。それは、最も想像力がかき立てられ、普段じっくりと聞くことが出来ないCMに聞き入ることが出来る栄誉である。ビールのCMという全国的なものが多いが、この作品は広島を代表する情景にバージョンをあて、広島の歴史や文化、価値観を共有、広島(消費者)に「地元キリンビール」を共感させてくれる。



《テレビ15秒の部》

●金賞

もしかして、広工大。「電子レンジ篇」「もしかして女子篇」

○広告主/学校法人 鶴学園 広島工業大学
○企画制作/株式会社アド・中四国支社
○制作者/杉田洋、松永直子、国生義弘、川島政晴、大方孝司、新井千晶



ここ数年、大学の広告が際立っている。2007年にもこの賞を受賞したのは大学だったと記憶している。私も広島の大学人の一人として、大学間の競争が激しさを増していることは認識しているつもりだが、「工業大学」というと数学や物理といった難しく堅いイメージ

●銀賞: ホルモン焼肉ぶち

「会長語りAタイプ」「会長語りBタイプ」
○広告主/株式会社ビッグアーム
○企画制作/株式会社RCCフロンティア
○制作者/高木大輔、富永和浩、筒井俊行、徳原純司、中野祐樹、赤松克彦

●銀賞: 行け! 電気保安官

○広告主/株式会社中国電気保安協会
○企画制作/株式会社西日本広島支社
○制作者/清水清春、鎌倉康紀、村上浩司、渡辺裕之

《テレビ30秒以上の部》

●金賞 該当なし

●銀賞: 「ゆるぎない」(インタビュー)

○広告主/田中学習会
○企画制作/株式会社毎日広告
○制作者/宮原喜恵、山崎浩、川上昌平、神田浩、石山新、渡辺裕之

●銀賞: 「散歩気分」

○広告主/らぽーとマネジメ
○企画制作/株式会社西日本広島支社
○制作者/寛章男、清水清春、佐々木真、渡辺裕之、加藤和夫